

平成19年度 資金収支計算書

平成19年度の決算概要は以下の通りです。
この決算書は平成20年5月27日、理事会・評議員会の承認を受けたものです。
【収支概況】
平成19年度資金収入の合計額は、160億528万円となり、予算と比べて1億4,990万円（0.9%）の増加となりました。
支出の部では、人件費支出が37億6,211万円、教育研究経費支出が19億9,178万円、管理経費支出が5億1,604万円となり、それぞれ予算と比べて減少し、支出計は91億8,130万円で予算と比べて3,772万円（0.4%）の減少となりました。
次年度繰越支払資金は、予算と比べて1億8,762万円（2.8%）の増加の68億2,398万円となりました。

(単位：円)			
収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	6,582,636,000	6,582,636,025	△ 25
手数料収入	340,070,000	355,887,990	△ 15,817,990
寄付金収入	20,000,000	4,890,190	15,109,810
補助金収入	602,149,000	601,016,072	1,132,928
国庫補助金収入	(601,991,000)	(600,874,000)	(1,117,000)
地方公共団体補助金収入	(158,000)	(142,072)	(15,928)
資産運用収入	372,111,000	373,533,877	△ 1,422,877
資産売却収入	0	40,530	△ 40,530
事業収入	81,312,000	75,503,733	5,808,267
雑収入	149,893,000	142,444,618	7,448,382
前受金収入	1,750,850,000	1,911,876,460	△ 161,026,460
その他の収入	298,008,000	314,147,064	△ 16,139,064
資金収入調整勘定	△ 1,852,548,000	△ 1,867,592,603	15,044,603
収入計	8,344,481,000	8,494,383,956	△ 149,902,956
前年度繰越支払資金	7,510,896,000	7,510,895,871	129
収入の部合計	15,855,377,000	16,005,279,827	△ 149,902,827

学生生徒等納付金とは、授業料をはじめとする学費収入です。

前受金収入とは、次年度に属する新入生の学費収入などを当年度に受け入れたものです。

資金収入調整勘定は減算科目で、期末における未収入項目は該当する科目で処理しているため、この科目で減算調整します。また前年度で前受金とした本年度に属する学費収入などは、学生生徒等納付金収入などで計上されているため、これもこの科目で減算します。

その他の収入には、固定資産（土地、建物等）取得に係る支払い資金に充てるための引当特定預金から取り崩した「引当特定預金からの繰入収入」の他、「貸付金回収収入」、「貸与奨学金回収収入」などがあります。

(単位：円)			
支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	3,772,184,000	3,762,110,151	10,073,849
教育研究経費支出	2,066,178,000	1,991,780,938	74,397,062
管理経費支出	534,149,000	516,041,181	18,107,819
施設関係支出	216,885,000	192,222,127	24,662,873
設備関係支出	89,839,000	203,616,125	△ 113,777,125
資産運用支出	2,324,769,000	2,327,549,302	△ 2,780,302
その他の支出	273,456,000	297,175,188	△ 23,719,188
予備費	28,347,000		28,347,000
資金支出調整勘定	△ 86,782,000	△ 109,191,363	22,409,363
支出計	9,219,025,000	9,181,303,649	37,721,351
次年度繰越支払資金	6,636,352,000	6,823,976,178	△ 187,624,178
支出の部合計	15,855,377,000	16,005,279,827	△ 149,902,827

設備関係支出とは、教育研究用の機器備品、その他の機器備品、図書、車輛といった固定資産取得のための支出です。

資金支出調整勘定とは、当年度中に支払うべき支出ですが、支払いが次年度になるものや、前年度に支払いを済ませた当年度の支出を差し引くことにより、資金の支出額を確定させるものです。

施設関係支出とは、土地や建物、構築物といった固定資産取得のための支出です。

その他の支出には、前年度中の活動に係る支出のうち、当年度に支払われた「前期末未払金支払支出」の他、「貸付金支払支出」、「貸与奨学金支払支出」などがあります。

平成19年度 消費収支計算書

【収支概況】
帰属収入の合計額は81億4,511万円となり、予算と比べて506万円（0.1%）の減少となりました。基本金組入額合計は16億6,556万円で、消費収入の部の合計額は、64億7,955万円で、予算と比べて1億8,023万円（2.9%）の増加となりました。
消費支出の部では、人件費37億1,761万円、教育研究経費25億1,727万円、管理経費5億3,491万円で、それぞれ予算と比べて減少となり、消費支出の部の合計は67億9,138万円で、予算と比べて8,048万円（1.2%）の減少となりました。
その結果、当年度消費支出超過額は3億1,182万円となり、翌年度への繰越消費収入超過額は75億8,662万円となりました。

(単位：円)			
収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	6,582,636,000	6,582,636,025	△ 25
手数料	340,070,000	355,887,990	△ 15,817,990
寄付金	22,000,000	9,548,666	12,451,334
補助金	602,149,000	601,016,072	1,132,928
国庫補助金	(601,991,000)	(600,874,000)	(1,117,000)
地方公共団体補助金	(158,000)	(142,072)	(15,928)
資産運用収入	372,111,000	373,533,877	△ 1,422,877
事業収入	81,312,000	75,503,733	5,808,267
雑収入	149,893,000	146,988,118	2,904,882
帰属収入合計	8,150,171,000	8,145,114,481	5,056,519
基本金組入額合計	△ 1,850,847,000	△ 1,665,562,989	△ 185,284,011
消費収入の部合計	6,299,324,000	6,479,551,492	△ 180,227,492

手数料の中心は入試の検定料です。その他は各種証明書の発行手数料などです。

資産運用収入とは大学が保有する預金等の金融資産の運用利息などです。

固定資産（土地・建物・備品・図書等）の取得額と、将来の固定資産取得資金の組入額や特定目的（奨学事業・課外活動事業等）のための基本金組入額の合計です。

帰属収入は国庫補助金が中心です。積極的な獲得策を講じています。

事業収入の主なものは、補助活動収入（国際交流会館の寮費、エクステンションセンターが実施している各種資格講座受講料収入など）及び受託事業収入（外部機関から受入の受託研究費）です。

(単位：円)			
支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費	3,727,402,000	3,717,610,757	9,791,243
教育研究経費	2,561,187,000	2,517,265,689	43,921,311
管理経費	549,921,000	534,906,803	15,014,197
資産処分差額	5,000,000	21,593,196	△ 16,593,196
予備費	28,347,000		28,347,000
消費支出の部合計	6,871,857,000	6,791,376,445	80,480,555
当年度消費支出超過額	572,533,000	311,824,953	
前年度繰越消費収入超過額	7,898,445,000	7,898,445,015	
翌年度繰越消費収入超過額	7,325,912,000	7,586,620,062	

人件費は、専任教職員や非常勤講師、契約・臨時職員の給与、賞与、退職給与引当金繰入額などです。

管理経費とは、法人業務の経費と教職員の福利厚生費、公租公課、広告費（学生募集費等）などです。

教育研究経費とは、教育研究活動に必要なすべての諸経費です。教員研究費や学生を対象とする援助費や奨学金もこの中に含まれています。